

秋田市バリアフリーに関するアンケート調査の実施について

1 調査目的

秋田市バリアフリー基本構想（平成23年6月策定）の中間評価とともに、市民のバリアフリーに対する意識を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査基準日

平成28年4月1日を基準日とする。

3 調査対象等

- (1) 対象者 秋田市内に居住する20歳以上の市民1,000人
- (2) 抽出方法 無作為抽出

4 調査期間

平成28年度前期を予定

5 調査方法

郵送調査法

6 調査票

別紙（2頁から4頁）のとおり

7 調査項目

- (1) 調査対象者の基本属性（男女別、10歳階級別、地域別 等）
- (2) バリアフリー等の理解度
- (3) 心のバリアフリーに対する対応
- (4) 車いす駐車スペースの利用状況
- (5) 自由意見

8 その他

本調査は、第6次秋田市総合都市計画の中間評価等のためのアンケート調査と併せて、一つの調査票を用いて実施する。

調査票 (案)

バリアフリーなどの言葉の意味についてお伺いします

問 1 次の「言葉の意味を知っているかどうか」お聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

-1 バリアフリー

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる 2. 聞いたことはあるが、説明できない 3. 知らない 4. その他 ()	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

-2 ユニバーサルデザイン

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる 2. 聞いたことはあるが、説明できない 3. 知らない 4. その他 ()	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

-3 ノーマライゼーション

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる 2. 聞いたことはあるが、説明できない 3. 知らない 4. その他 ()	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

障がい者や高齢者が困っている場面での行動についてお伺いします

問 2 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. ある 2. ない	<input type="checkbox"/>
----------------	--------------------------

- 問 6** 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。
特に有効だと思うものを2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 児童生徒と高齢者や障がい者との交流
2. 学校教育での指導
3. 街頭キャンペーンやイベントの開催
4. ボランティアの育成
5. ホームページ等によるバリアフリー情報の提供
6. 広報やポスターなどによる啓発活動
7. セミナーやシンポジウムの開催
8. その他 ()

車いすマークのついた駐車スペースについてお伺いします

- 問 7** 「商業施設や公共施設にある車いすのマークのついた駐車スペースの利用状況をどのように感じているか」お聞きします。あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 車いす使用者のみ利用している
2. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等歩行困難な人のみが利用している
3. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している
4. 車いす使用者および高齢者、障がい者、妊婦等歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している
5. わからない

--

- 自由意見** 秋田市のバリアフリーの取組について、ご意見やご提案がありましたら、下記に記入ください。

--